

2023 年度ゼミ（演習 1）要覧

担当者名	久保田 浩
演習テーマ	文化の中に「宗教」を読む
演習の内容	<p>社会において「宗教」は、多様な姿をまとって現れてくると同時に、様々な機能も果たしています。その中の一つに、文化的・習俗的営みとして現れ、実践される「宗教」があります。本演習では、文化として現れてくる「宗教」をテーマに、「伝統的」といわれる文化現象としてだけではなく、ポップカルチャーとしての「宗教」の現れと機能についても学んでいきます。「無宗教」であるとされることの多い日本社会をはじめ、世界各地におけるこのような「宗教」の実態を読み解き、その社会的・文化的機能を分析する訓練を行います。</p> <p>グループごとに調査対象を選定し、自分たちの問いを立て、それに答えるために、資料や参考文献を収集し、自分たちの分析視点と調査方法を確立し、その上で、選定した対象を調査し、その成果を報告し、共同で議論します。また宗教研究の方法と理論に関する英文テキストを講読し、学問的アプローチについての理解も深めていきます。</p> <p>以上を通して、履修者の皆さんが、文化研究としての宗教研究の視座を理解し、「宗教」を切り口として文化的・社会的事象を分析する能力を獲得できるようになることを願っています。</p>
テキスト・参考書	ゼミ選択のご参考までに以下の文献を挙げておきます。学問的に宗教を研究するとはどのようなことか、コンパクトに読みやすくまとめられています。島菌進他編『宗教学キーワード』有斐閣、2006年。島菌進『宗教学の名著30』ちくま新書、2008年。
成績評価の基準	複数回の発表（60%、研究トピック発表、講読文献の内容・考察発表、研究成果発表等）、提出物（40%、調査報告書）。
校外実習	実施しない
選考方法	小論文と個別面談（「備考」欄の記載に注意してください。面談方法については、申込終了後に教員から連絡します）。
小論文（テーマ、書式・枚数、提出期限・方法）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①本演習に関心を持った理由、②本演習の中で調査・研究してみたいトピックと、そのトピックに関心を抱ききっかけとなった出来事や経験（読書経験も含む）、の2点について具体的に記述してください。 ・ ①と②を併せて1200字以上1800字以内（A4で1頁から1頁半程度）。 ・ 申込書と一緒に、申込受付期間内に提出（manabaのレポート機能）。
メールアドレス	frhkubot@k.meijigakuin.ac.jp
説明会・オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下の日程で説明会を開きます（40分程度）。 第1回 5月15日（月）11時～ 第2回 5月15日（月）12時40分～ 第3回 5月18日（木）14時20分～ 第4回 5月24日（水）12時40分～ ・ メールにて事前に申し込みをしてください。場所は、申し込みをし

	てくださった方に後日ご連絡します（下の「備考欄」を参照のこと）。
履修済・履修中であることが望ましい授業	特になし
2024年度に在外研究等で演習を開講しない可能性	あり
備考	本演習の履修に関心のある方は必ず、「説明会・オフィスアワー」欄に記載されている説明会に参加してください。事前にメールで、どの回の説明会に参加するかを必ず教員に伝えてください。メールでの事前申し込みと説明会への参加がない場合には、申請を受け付けません。